

玉野市営住宅の集約・再編に係るサウンディング型市場調査 アンケート

Q1 市営住宅を集約する候補地の優先順位を、①広田町住宅（40～60戸程度）、②湯原住宅（30戸程度）、③築港大通り住宅（30戸程度）の順で検討しています。PPP/PFI事業として実施することで、従来型手法と比較してメリットがあると考えられますか。

Q2 集約により発生した余剰地について、民間事業者売却や賃貸を行うこととした場合に、活用を希望する敷地はありますか？

Q3 再編して新たに建設した市営住宅の敷地内や、1階部分などに店舗や事業所を構えることにより、市営住宅の入居者や周辺の住民が抱える課題の解決や利便性の向上等が期待できる提案はありますか。また、その実現についての課題があったときに市に求める事項等がありますか？

（課題と提案の例）

- ・市営住宅の入居者の高齢化が進んでいる。
→1階を高齢者福祉の事業所として使うことにより利便性が向上する。
- ・周辺にスーパーマーケットがなく買い物に困っている。
→敷地内の用地をスーパーマーケットに貸し出すことにより、市営住宅だけでなく周辺住民も含めた買物の利便性が向上する。

Q4 今後、事業者提案により PPP/PFI 事業を実施することとなった場合、仕様書に関する要望事項、その他事業に関する質問等ありましたらご記入ください。